

第14～22回の主な千城台地区学校適正配置地元代表協議会(概要) (資料1)

第14回協議会 今後の協議について

会長・副会長から「今後の協議について」が提案され、協議の結果、下記の5点について協議会として合意がなされた。

- 1 統合時期を平成27年4月として協議を行う。
- 2 現行学区での統合を検討する。
- 3 配置においては、「子どもたちにとってのより良い教育環境」の視点を重視する。
- 4 中学校統合については今後の協議に関連して、必要に応じて行う。
- 5 事務局は随時情報収集し、地元代表協議会に情報提供を行う。

第15回協議会 千城台地区小学校の適正配置について

事務局が「千城台地区における『特色ある教育活動』『小学校の統合・現行学区での統合シミュレーション(35人学級編制の場合)」、「中学校の生徒数推計・統合シミュレーション」を中心に説明を行った後、協議を行った。その結果、次回も継続審議とし、中学校の統合協議も含めて「小学校の適正配置」について引き続き協議を行うことが確認された。

第16～19回協議会 千城台地区小学校の適正配置について

会長・副会長から、小学校統合シミュレーションのうち、「A案(2番)・B案(5番)」について再提案が行われた後、協議を行った。その結果、次回も引き続き小学校統合について協議を行うこととし、中学校の統合について各団体で話し合ってくることを確認された。

第20回協議会 千城台地区小学校の適正配置について

事務局が「協議の論点整理表」を中心に説明を行った後、協議を行った。その結果、次回は中学校の適正配置の必要性について協議を先に行うこととし、それを踏まえて小学校の統合協議を行うことが確認された。また、27年4月統合の目標は先送りすることとなった。

第21回協議会 千城台地区中学校の適正配置について

事務局が、「学校適正配置の必要性」「中学校の生徒数推計・統合シミュレーション」「千城台地区中学校に在籍する生徒の居住分布状況」を中心に説明を行った後、協議を行った。その結果、次回も引き続き、中学校の統合協議を行うことが確認された。

第22回協議会 千城台地区中学校の適正配置について

事務局が、「中学校の適正配置の必要性 論点整理表」を中心に説明を行った後、協議を行った。その結果、中学校の統合の必要性については、「両中学校とも適正規模でないため、統合の必要性はあるが、中学校の統合は、強行せず見送ることが妥当である」ことが確認され、次回の協議会で、再度確認するとともに、小学校の統合協議を進めることとした。

協議の進め方

(資料2)

